

目次

Introduction : はじめに

第1篇 ヨーロッパの観光地

No.1 : イギリスの観光地
No.2 : フランスの観光地
No.3 : イタリアの観光地
No.4 : ドイツの観光地

Part I 掲載国

No.5 : スペインの観光地

No.6 : ポルトガルの観光地

No.7 : スイスの観光地

No.8 : オーストリアの観光地

No.9 : ギリシャの観光地

No.10 : ベルギーの観光地

No.11 : オランダの観光地

No.12 : ロシアの観光地

No.13 : 北欧の観光地 (デンマーク、フィンランド、ノルウェーなど)

No.14 : 東欧の観光地 (チェコ、ハンガリー、ポーランドなど)

第2篇 アジアの観光地

第3篇 北米の観光地

第4篇 中南米の観光地

第5篇 オセアニアの観光地

第6篇 アフリカの観光地

第7篇 中東の観光地

Introduction : はじめに

○ 海外観光地理について

旅行業務取扱管理者試験の科目の一つである「海外旅行実務」は、5つの分野から成っています。このうち「海外観光地理」は試験実施要領では「主要国の観光」とあります。実際の出題内容は、試験制度が現行のものになった1996年以降、「世界のほとんどの地域について、都市名・建造物・自然・料理・美術作品（収蔵美術館や作者）・遺跡など」が中心です。

この分野の特徴は、① 解答に必要な知識が膨大であるため、広範な知識を身に付ける必要があること ② しかし、合格のために何が必要であるのかの範囲が明確でないこと があげられます。

この点については後述のように過去問の範囲に限定して、覚える範囲を決めることが合理的であると考えています。

○ 出題内容（形式、配点など）

- ・ 出題形式は、設問に該当する解答を選ぶ四肢択一形式、説明文についての正誤問題、国名と自然公園が一致するものや同一国に関する説明文を選択する組合せ問題、該当するものをすべて選ぶ多肢選択形式など。
- ・ 配点は2点×20問=40点で一定しています。

○ 学習の方針

I 余り深追いせずに、10問程度の正解を目指す。

いきなりネガティブな内容ですが、これが最も合理的です。前述のように出題範囲が広いので、この分野に初めて取り組んで高得点を狙うには複数年かかるでしょう。しかし多くの方は直近の試験の合格を目指すため、準備期間はせいぜい半年～3カ月くらいです。他の分野の学習を考慮すると、この期間では不十分です。

また、配点が1問2点なので、半分の10問を落としても失点は20点です。他の分野は1問5点なので、こちらに注力すれば十分リカバーできます。よって1問あたり30秒で（計10分）で解いて、10問正解できれば上出来です。

II 学習の範囲を「過去問」を中心とする。

世界中に観光地は数多ありますが、試験に出題される観光地はある程度は限定されています。中には定番ともいえる出題もあります（ハワイの島々とそれぞれの観光スポット、有名美術館とその収蔵作品 など）。また、数年おきに出題される都市がかなりあります。ふつうそんなことは知りませんが…

そのため、過去に出題された内容に絞って覚えることが大変効率的です。市販の参考書などもそのような編集をしているようです。20問中の10問を正解するためにはこの方法が最も負担が少ないと思います。

III 細かな時間を利用して、イメージ作り&暗記をする。

今、もし自由に使える時間が2時間あって試験の準備に充てられるとしたら貴方は「海外観光地理」の勉強をしますか？もし答がYesなら、それはちょっと時間が勿体ないと思います。集中できる時間では時差や運賃の計算の手順や、通関可能な手荷物の範囲など、知識を整理して覚える項目を中心にする方が学習の効率は良いと思います。

海外観光地理の学習は、短い時間でもポイントを絞って学習できます。

ハワイの島を例にすると「ハワイ島 ⇒ 大きな島（ビッグ・アイランド）⇒ 山が多い（最高峰マウナ ケア - 星空観測、活火山キラウエア - 現在でも噴火）」「カウアイ島 ⇒ 庭園の島（ガーデンアイランド）⇒ 浸食により崖や渓谷が多い（陸路で訪れることが困難な断崖ナパリ コースト、リトル・グランド・キャニオンと呼ばれるワイメア渓谷、王族が結婚式を行ったシダの洞窟）」などを10分くらいでチェックしてイメージを作り、浅く、広く、早く知識を増やしましょう。

IV 問題を解きながら知識を確実にする。

「浅く広い知識」でも、早く問題演習をすることをお勧めします。テキストを読むだけでは知識の確認はできませんし、何より飽きてしまいます。問題演習を通じて知識を強化・修正することが「飽きずに継続して学習」できる方法であると思います。利用する教材は市販の問題集（古本でも可）やネット上の動画などがありますし、もちろんこの講座でも提供します。何回も解いて、徐々に正答率が上がれば、学習意欲にさらに拍車がかかります。

○ この講座について

「海外観光地理」のテキストは、1996年の試験から出題された観光地を中心に編集しました。理由は前述の通りです。過去30年の出題分について、各国別に地域や項目別に整理してあります。これだけをマスターしておけば準備としては十分だと思います。

動画は他の分野と異なって、テンポアップした編集で「1動画・1カ国・10分以内」で終わるようにしてあります。これで、必要な部分だけを集中力を欠かずに視聴できると思います。

知識の確認はホームページにオンライン・チェックテストを公開します。タブレットやスマートフォンからでもチャレンジできますので、5～10分程度のスキマ時間でも利用できます。これを知識の確認・補強にご利用ください。

<参考> 【2021～2025年、地域別出題数】

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
ヨーロッパ	8	8	7	6	7
アジア (中国、韓国、 タイ、ベトナム、 インドなど)	5	5	5	4	5
中東 (トルコ、イラン、 サウジアラビア など)	-	1	1	1	-
北米	2	3	3	3	3
中南米	2	1	1	1	2
オセアニア	1	1	1	1	1
アフリカ	2	1	1	1	1
複合	-	-	1	3	1

<参考> 2024/2025年出題項目

番号	2024年	2025年
1	スペインの巡礼路の終着都市	イタリア南部の特徴的な住居のある都市
2	王宮などがあるオランダの都市	スペインの「カルメン」の舞台である都市
3	「ナイアガラの滝」がある五大湖の一つ	エーゲ海にあるギリシャの島
4	「風と共に去りぬ」の舞台である都市	メキシコの遺跡のあるユカタン半島の都市
5	ソウルにある李氏朝鮮時代の王宮	ベネズエラの世界最大の落差の滝
6	中国の三国時代の蜀の都	中国・浙江省の観光都市
7	インド西部、ムンバイにある石窟群	インドの「ピンクシティ」と呼ばれる都市
8	ペルーのマチュピチュ遺跡の観光拠点	オーストラリアの世界複合遺産名
9	インドネシアの複数の観光地	エジプトのルクソールにある観光スポット
10	カウアイ島（ハワイ）の複数の観光地	ロンドンの複数の観光地
11	南アフリカ共和国の複数の観光地	カナダ東部の複数の観光地
12	トルコの複数の世界遺産	シンガポールの複数の観光地
13	オーストラリアの複数の観光地	ベトナムの複数の観光地
14	パリの複数の観光地	マレーシアの複数の観光地
15	フィレンツェのベッキオ橋の写真問題	スイスの観光列車
16	イタリアの複数の観光都市	スイスの観光都市
17	イタリアの美術館と収蔵品	スイスの氷河の名称
18	オーロラの観測都市と国名の組み合わせ	ハワイの島と観光ポイントの組み合わせ
19	人気ビーチ・島名・国名の組み合わせ	アメリカの国立公園と観光ポイントの組み合わせ
20	絵画の作品名・作者・所在地の組み合わせ	絵画の作品名と収蔵場所の組み合わせ